

# セキュリティ市場調査WG 活動報告

[http://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/h20fy\\_marketresearch.html](http://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/h20fy_marketresearch.html)

セキュリティ市場調査WG

グループリーダー 勝見 勉

2009年 6 月3日

**JNSA 2008年度活動報告会**

# 調査の概要



(P16-18)

## 経済産業省委託調査

目的： 情報セキュリティの供給側の統計データの収集

- 情報セキュリティの普及度・到達度を示す基礎データ
- 情報セキュリティ政策推進のベースとしての現状把握のための基礎資料
- 産業サイドの事業企画や新規参入計画の参考

## 調査概要：

- 調査・分析活動時期： 2008年6月 ～ 2009年3月
- 対象：国内で情報セキュリティツール、サービスを提供する全事業者
- 調査方法： アンケート調査 各種統計・調査資料の参照  
個別企業の事業概要・規模推定(対象数:381社)  
主要企業個別ヒアリング(対象数:15社)
- アンケート調査： 期間： 2008年11月～12月 郵送留置・郵送回収  
発送数： 1141件 回収数： 140件 回収率12%
- 対象期間： 2006,2007年度実績 2008年度見込み 2009年度計画
- 付帯調査： 国際比較 ユーザ側調査との比較  
情報セキュリティをめぐる新しい動きの概観

# 市場区分の定義



(P23-36)

2008年度はいくつかの見直しを行った。

「アクセス制御」→「ネットワーク脅威対策」「セキュアコンテンツ管理」→「コンテンツセキュリティ対策」「アクセス管理」→「アイデンティティ・アクセス管理」等

セキュリティツール	統合型アプライアンス	FW、IDS、ウイルス対策等複数機能を持ったアプライアンス
	ネットワーク脅威対策製品	FW、IDS/IPS、VPN、アプリケーションファイアウォール
	コンテンツセキュリティ対策製品	ウイルス対策、スパム対策、URLフィルタ、メールフィルタ等
	アイデンティティ・アクセス管理製品	認証、ログオン管理・アクセス許可、PKI製品
	システムセキュリティ管理製品	セキュリティ情報統合管理、ポリシー・アクティビティ管理ツール、脆弱性検査ツール 等
	暗号製品	暗号化製品、暗号モジュール
セキュリティサービス	セキュリティコンサルティング	ポリシー構築、監査・診断等セキュリティ管理全般コンサルティング 企画認証取得支援サービス
	セキュアシステム構築サービス	ITセキュリティの設計、導入、製品選定等支援 等
	セキュリティ運用・管理サービス	マネージドサービス(ITセキュリティの監視、運用支援)、プロフェッショナルサービス、電子認証サービス 等
	セキュリティ教育	教育実施、コンテンツ提供、教育ASP、資格認定 等
	情報セキュリティ保険	情報セキュリティおよびITセキュリティ保険

# 国内情報セキュリティ市場規模の概観



(P3)

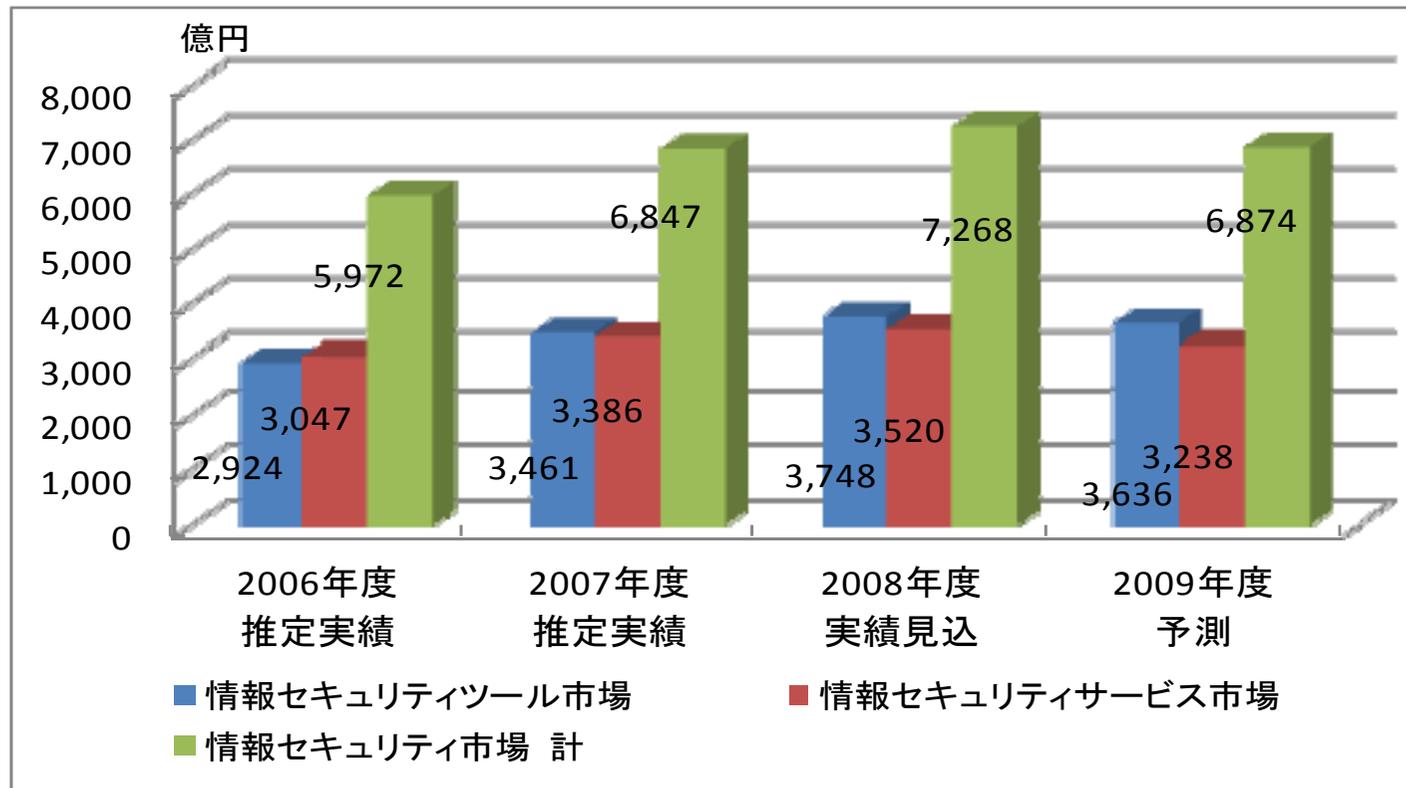
年度別市場規模	2006年度		2007年度			2008年度			2009年度		
情報セキュリティツール	実績推計値		実績推計値			実績見込推計値			予測値		
	金額	構成比	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率
統合型アプライアンス	14,487	5.0%	18,183	5.3%	25.5%	19,663	5.2%	8.1%	19,088	5.3%	-2.9%
ネットワーク脅威対策製品	48,455	16.6%	53,383	15.4%	10.2%	55,925	14.9%	4.8%	51,781	14.2%	-7.4%
コンテンツセキュリティ対策製品	116,446	39.8%	132,309	38.2%	13.6%	142,704	38.1%	7.9%	138,721	38.2%	-2.8%
アイデンティティ・アクセス管理製品	48,821	16.7%	61,533	17.8%	26.0%	66,168	17.7%	7.5%	63,079	17.3%	-4.7%
システムセキュリティ管理製品	38,455	13.1%	46,770	13.5%	21.6%	52,153	13.9%	11.5%	51,615	14.2%	-1.0%
暗号製品	25,785	8.8%	33,922	9.8%	31.6%	38,157	10.2%	12.5%	39,296	10.8%	3.0%
セキュリティツール市場合計	292,449	49.0%	346,100	50.5%	18.3%	374,771	51.6%	8.3%	363,581	52.9%	-3.0%

年度別市場規模	2006年度		2007年度			2008年度			2009年度		
情報セキュリティサービス	実績推計値		実績推計値			実績見込推計値			予測値		
	金額	構成比	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率
情報セキュリティコンサルテーション	63,451	20.8%	73,497	21.7%	15.8%	77,708	22.1%	5.7%	71,181	22.0%	-8.4%
セキュアシステム構築サービス	142,585	46.8%	147,130	43.5%	3.2%	149,425	42.5%	1.6%	132,397	40.9%	-11.4%
セキュリティ運用・管理サービス	74,134	24.3%	87,233	25.8%	17.7%	91,777	26.1%	5.2%	89,115	27.5%	-2.9%
情報セキュリティ教育	17,467	5.7%	23,404	6.9%	34.0%	25,461	7.2%	8.8%	23,669	7.3%	-7.0%
情報セキュリティ保険	7,111	2.3%	7,354	2.2%	3.4%	7,625	2.2%	3.7%	7,417	2.3%	-2.7%
セキュリティサービス市場合計	304,748	51.0%	338,618	49.5%	11.1%	351,996	48.4%	4.0%	323,778	47.1%	-8.0%

セキュリティツール+サービス	597,198	100.0%	684,717	100.0%	14.7%	726,767	100.0%	6.1%	687,359	100.0%	-5.4%
----------------	---------	--------	---------	--------	-------	---------	--------	------	---------	--------	-------

- ✓国内情報セキュリティ市場は約7000億円市場(2007:6,847⇒2008:7,268⇒2009:6,874)・・・2009は2007並みか?
- ✓調査対象4年間の年平均成長率は、  
セキュリティ市場合計:4.8% ツール市場:7.5% サービス市場:2.0%

# 国内情報セキュリティ市場規模の推移



- ・国内IT出荷総額(約7.5兆円)の9.2%、通信機器を含めると7.7%(2007年度ベース)
- ・ソフトウェア(7650億円)より小さく、サーバ(5043億円)より大きい(同)
- ・パソコン(約1.13兆円)の約60%(同)

# 情報セキュリティの供給サイドの構造分析

(P18-22)

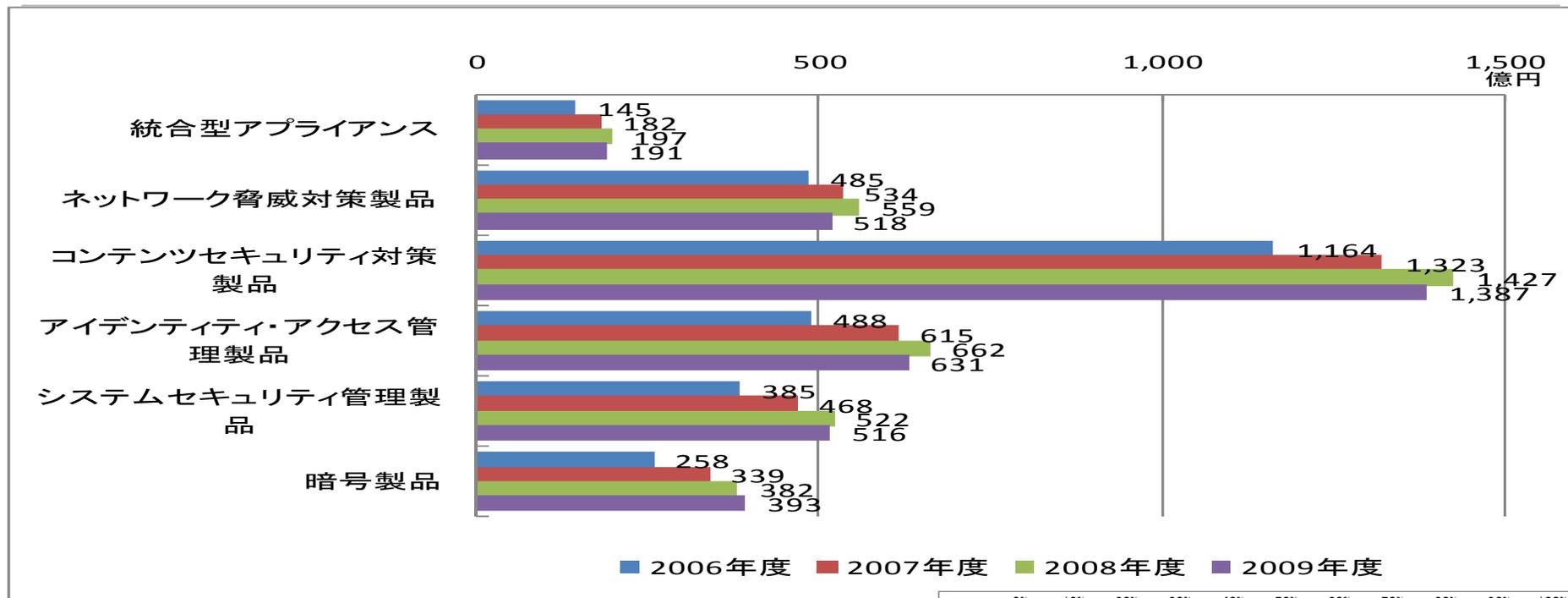
国内情報セキュリティ市場 推計対象企業数と分布	対象企業業態区分								
	合計	海外ベンダ /日本法人	国内ベンダ	流通・販売 業者	SI/NI機能 ありの二 次・三次販 売業者	大手シス テムインテ グレータ	コンサル会 社	サービス 提供事業 者	その他
調査推計対象(含:アンケート回答129件)	381	49	54	32	108	27	17	78	16
有効推計対象	358	47	52	30	100	26	17	73	13
情報セキュリティツール全体 (X)	245	46	47	27	79	24	0	18	4
統合型アプライアンス	68	8	4	12	26	13	0	5	0
ネットワーク脅威対策製品	121	21	10	16	47	17	0	9	1
コンテンツセキュリティ対策製品	129	17	14	19	48	16	0	12	3
アイデンティティ・アクセス管理製品	117	9	19	19	43	21	0	6	0
システムセキュリティ管理製品	134	23	20	19	43	18	0	9	2
暗号製品	95	6	15	13	39	18	0	3	1
情報セキュリティサービス全体 (Y)	248	11	20	15	82	23	17	70	10
情報セキュリティコンサルテーション	165	7	9	8	51	19	17	53	1
セキュアシステム構築サービス	114	5	7	10	53	20	6	13	0
セキュリティ運用・管理サービス	145	7	16	9	49	17	10	33	4
情報セキュリティ教育	91	5	4	6	19	16	11	28	2
情報セキュリティ保険	8	0	0	1	2	1	0	0	4
(参考)									
ツール専業 (X∩ <sup>^</sup> Y)	110	36	32	15	18	3	0	3	3
ツール・サービス兼業 (X∩Y)	135	10	15	12	61	21	0	15	1
サービス専業 ( <sup>^</sup> X∩Y)	113	1	5	3	21	2	17	55	9

- セキュリティツールの供給・流通の主体は海外ベンダ、国内ベンダ、SI・NI機能を持つ二次・三次販売業者、大手SIer。
- セキュリティサービスの供給主体はセキュリティサービスプロバイダ、SI・NI機能を持つ二次・三次販売業者、大手SIer。
- 日本市場ではシステムインテグレータの果たす役割が大きい。

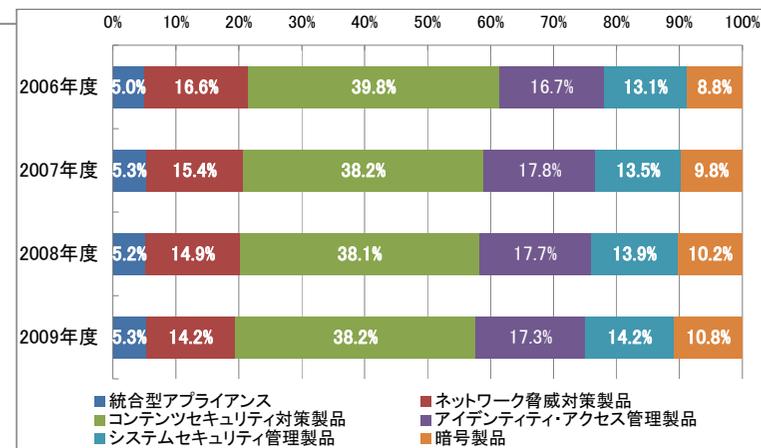
# 国内情報セキュリティツール市場推移



(P6-8, P47-50)



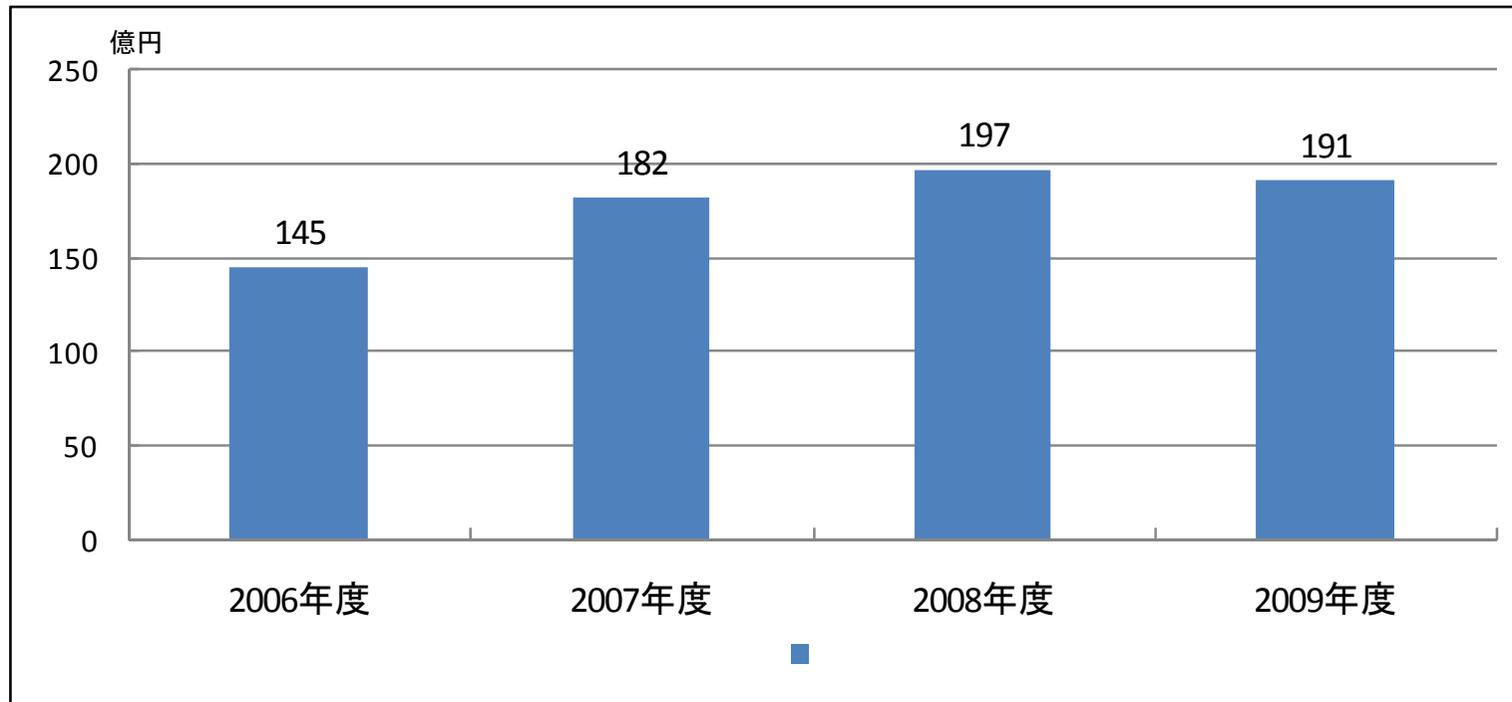
- 全体として2007年度は18.3%と高成長だった。
- 伸び率が高いのは暗号、ID・アクセス管理、アプライアンス
- コンテンツセキュリティ対策は成熟市場だが伸びもある。
- NW脅威対策は成熟。統合型アプライアンスへのシフトも。
- ID・アクセス管理は内部統制対応で需要拡大。
- システムセキュリティ管理、暗号製品の急成長も情報漏洩対策、内部統制対応で成長した。特に暗号の勢いが強い。



# 統合型アプライアンス(2007年度)



(P51-53)

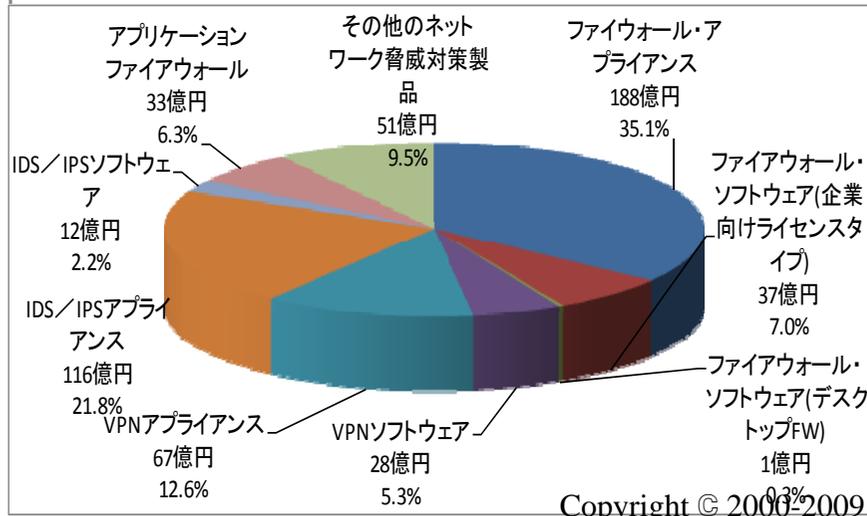
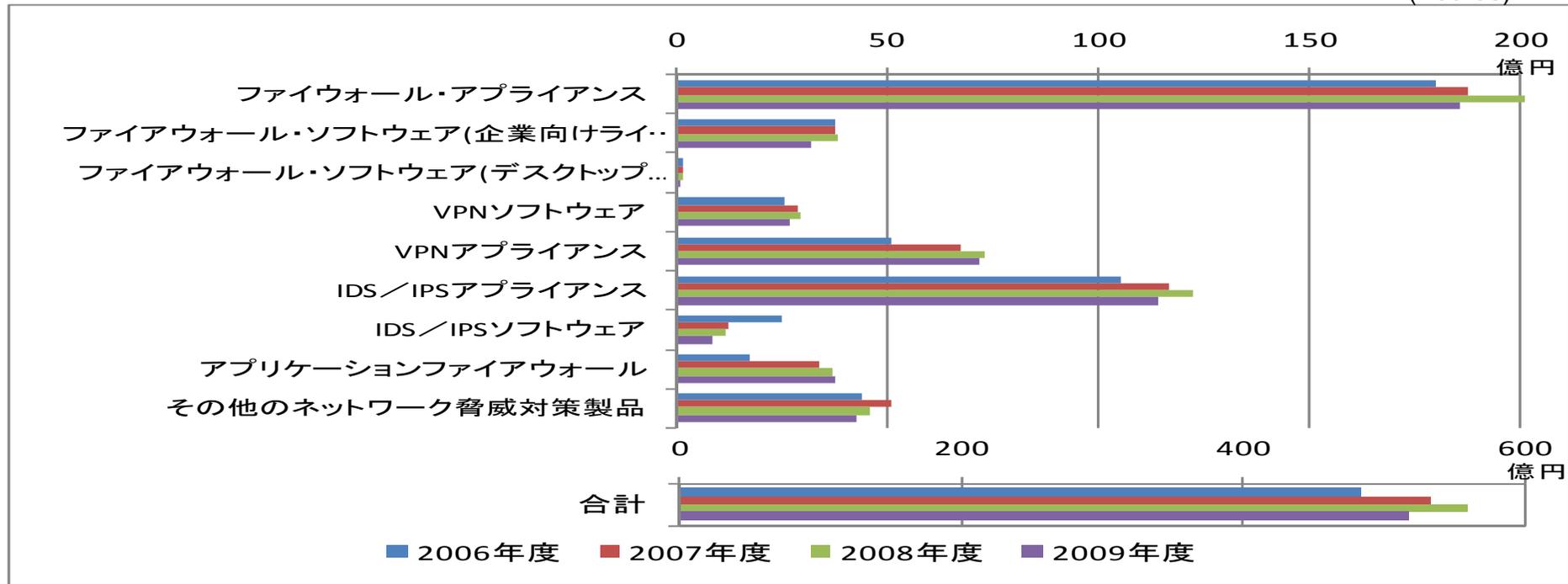


- 2007年度は25.5%と高成長。
- 低価格・小型の普及型が中小規模事業所に浸透。
- 用途としてVPNゲートウェイもウエイトが高い模様。
- ハイエンド機にも需要の動き。
- 今後は二極化が進むか。
- 単機能FW等からの置き換えは引き続き続く？

# ネットワーク脅威対策製品(2007年度)

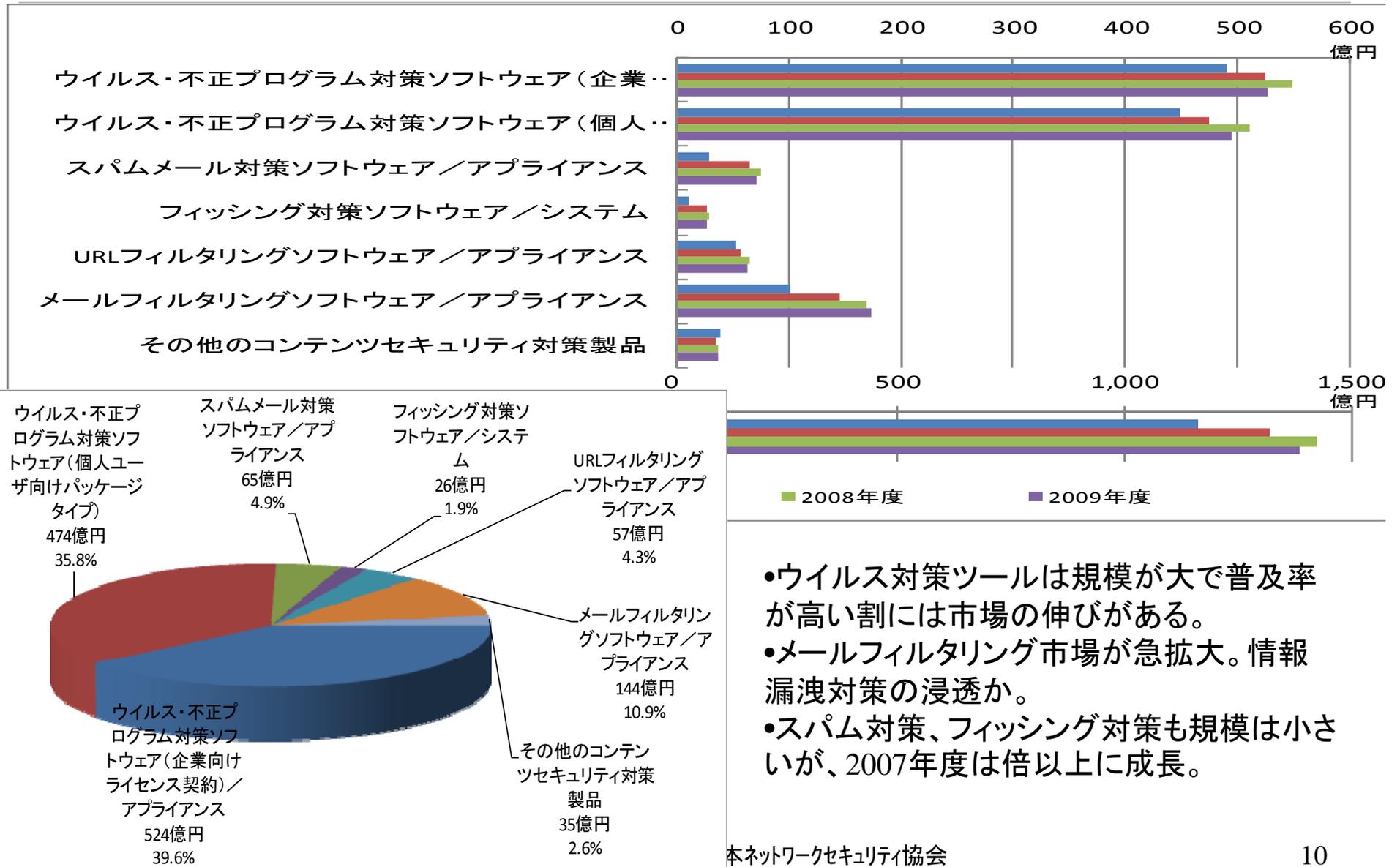


(P53-58)



- ファイアウォール(AP、ソフトとも)のハイエンド機にキャリアの投資需要が見られた。
- VPNの伸びが高い
- アプリケーションFWは2007年にかなり市場を拡大した?

# コンテンツセキュリティ対策製品(2007年度)

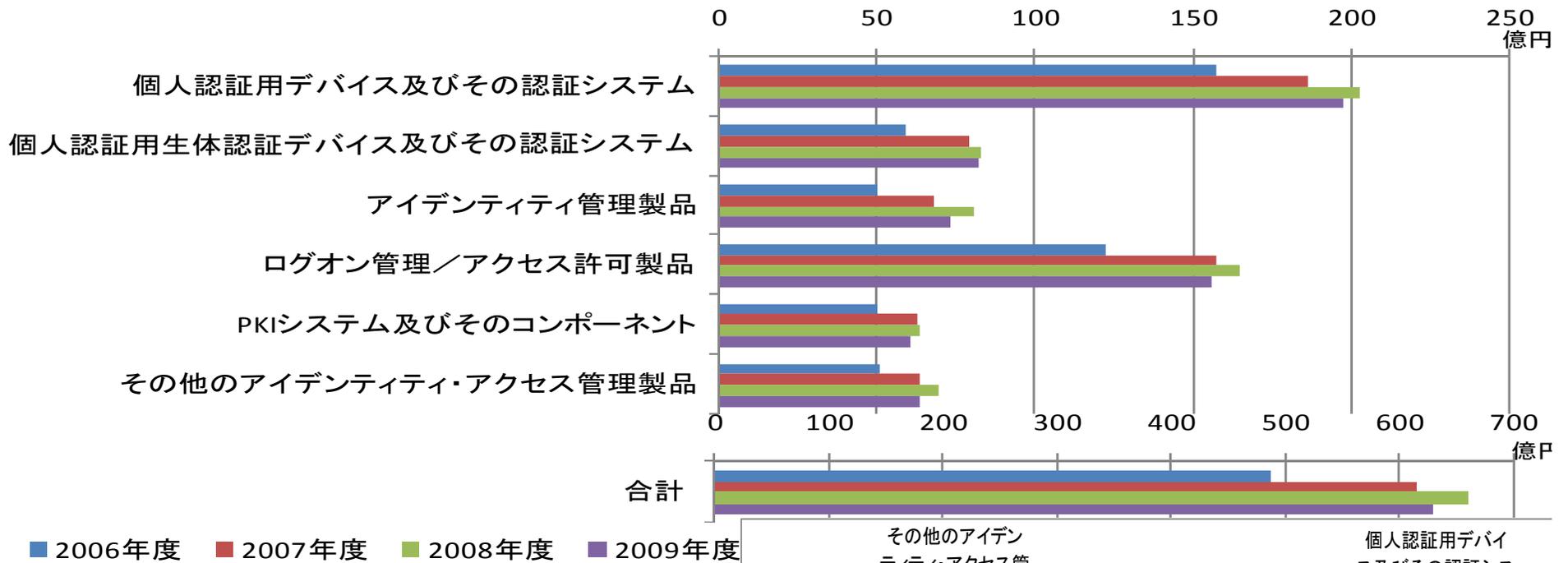


# アイデンティティ・アクセス管理製品

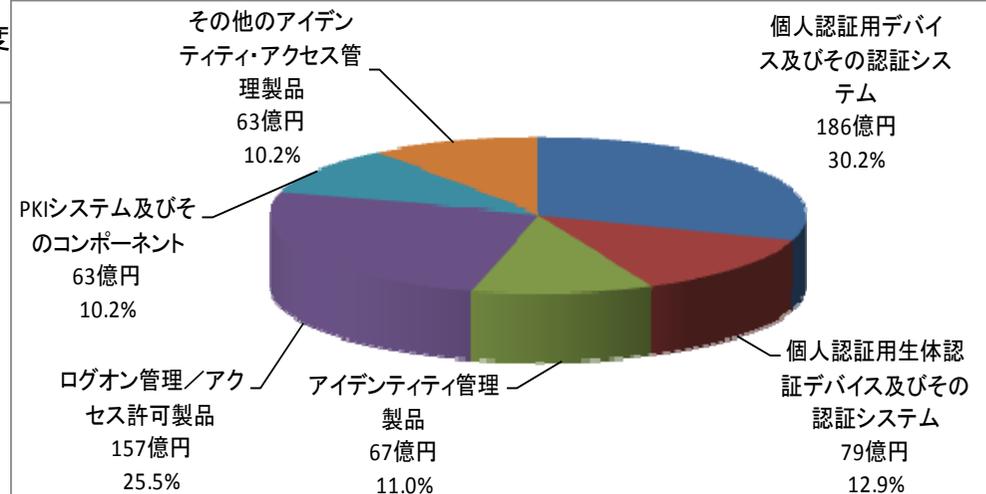


(2007年度)

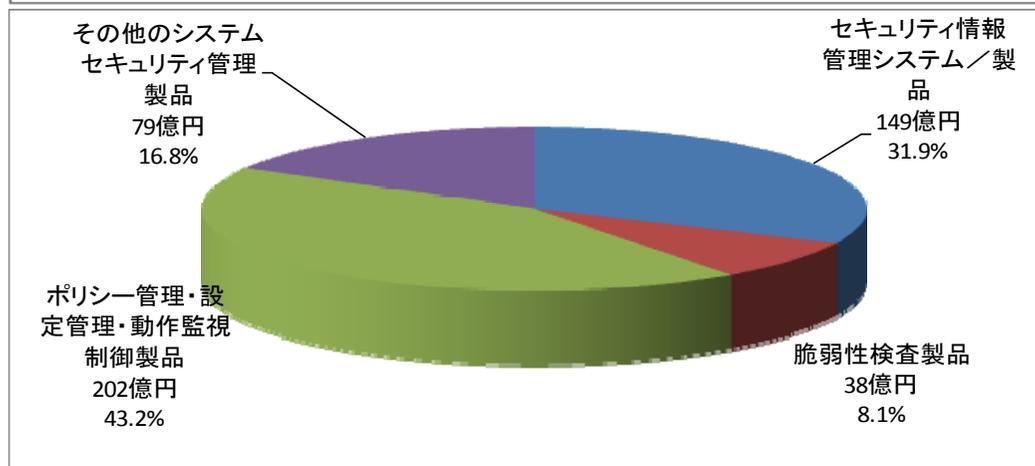
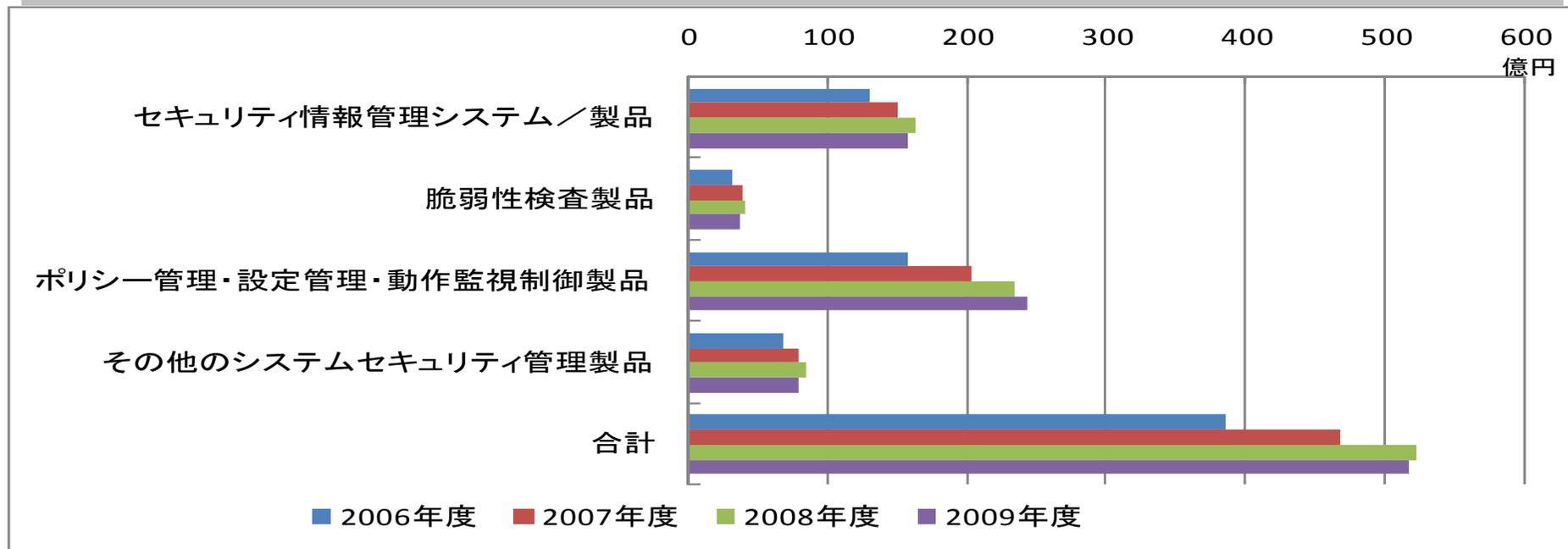
(P65-70)



- 認証・ID管理系は総じて高い伸びを示した。
- 特に生体認証、アイデンティティ管理は35%前後の高成長。
- 内部統制対応が主たる促進要因と考えられる。

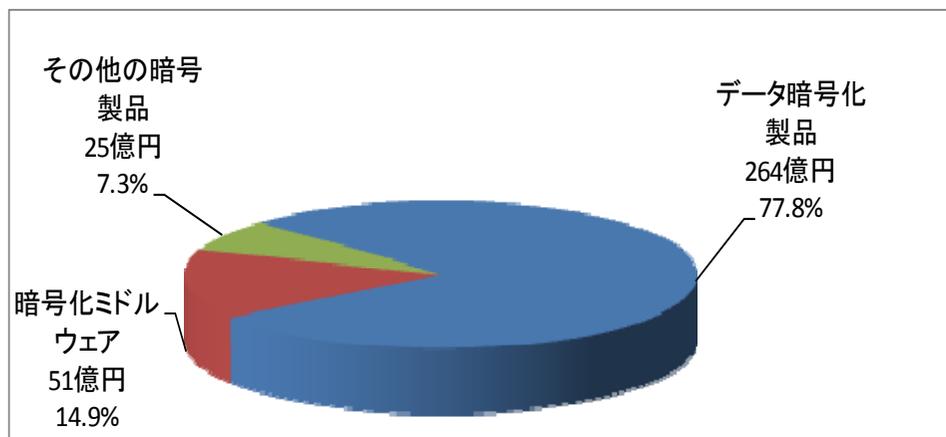
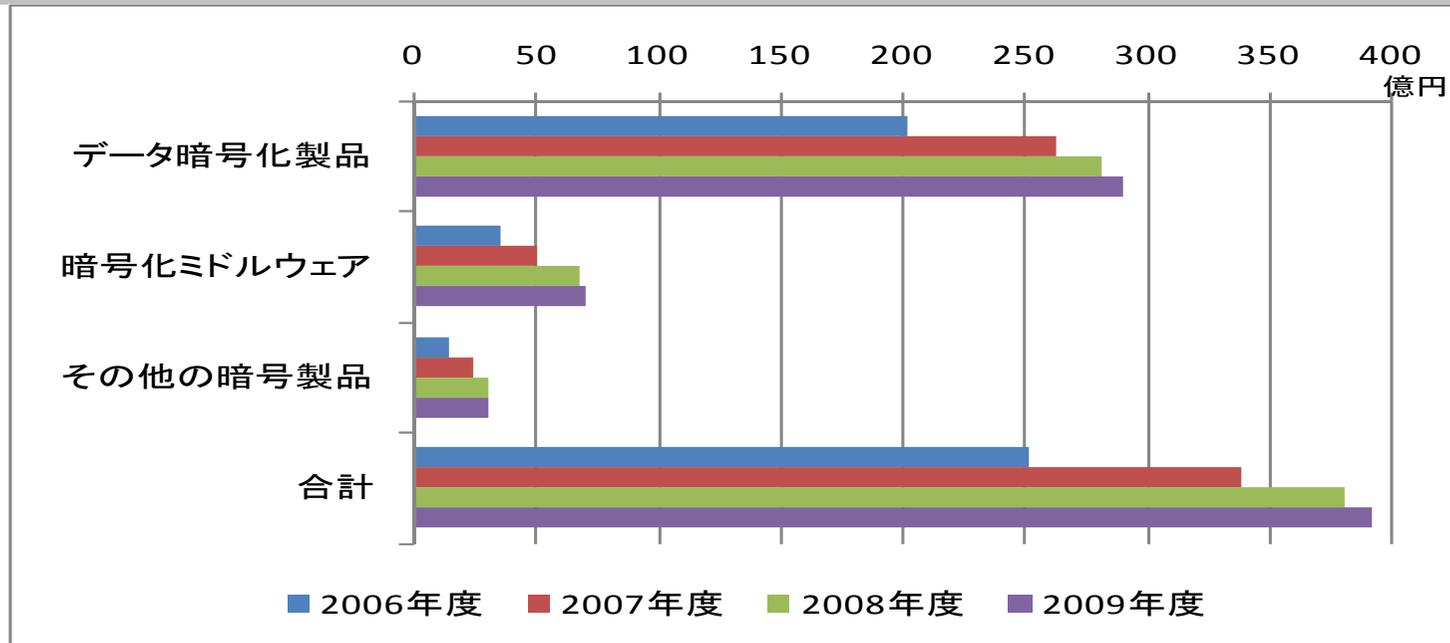


# システムセキュリティ管理製品(2007年度)



- 端末のポリシー順守の管理や動作の監視・制御用ツール、検疫NW製品を含む「ポリシー管理・設定管理・動作監視制御製品」が高い伸びを示した。
- 脆弱性検査製品も伸びが高い。
- NWセキュリティ監視やログ管理の製品も伸びている。

# 暗号製品 (2007年度)

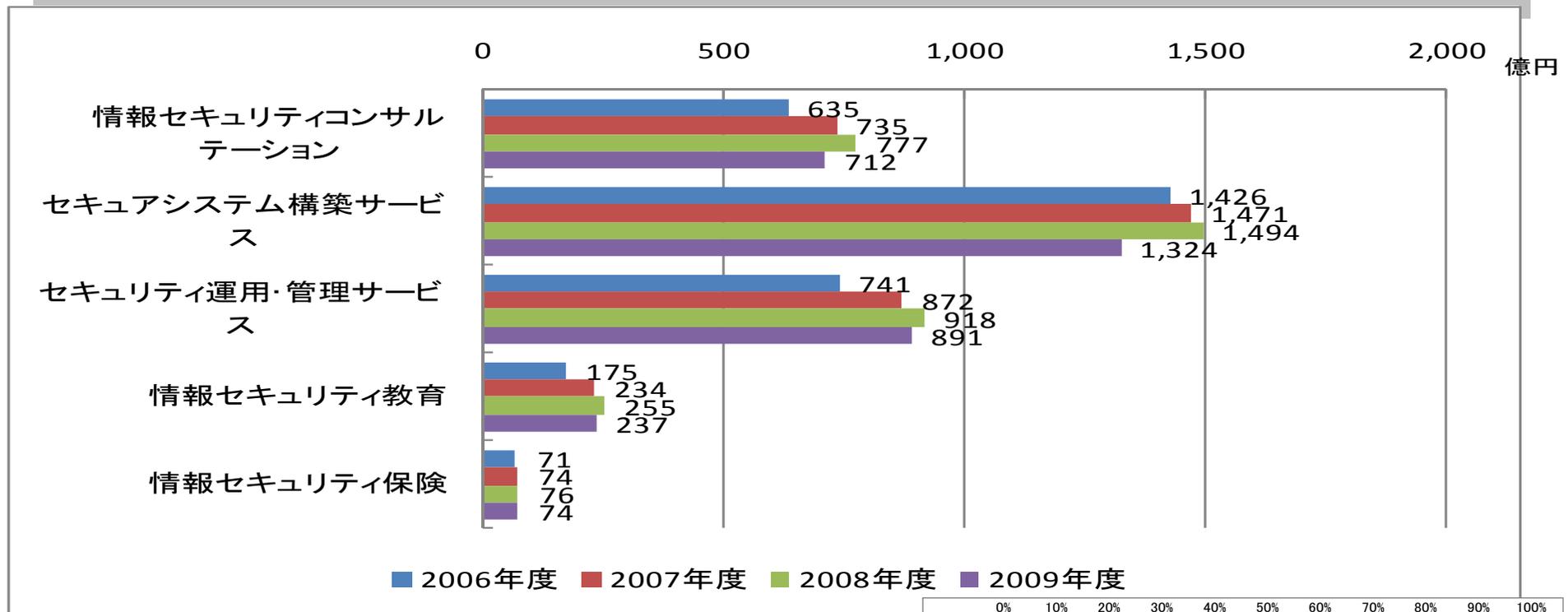


- 全セグメントが30%以上の伸びを示し、急速な市場拡大を見た。
- 個人情報や営業秘密などの漏洩対策を主たる誘因として暗号化需要が活発化していると思われる。

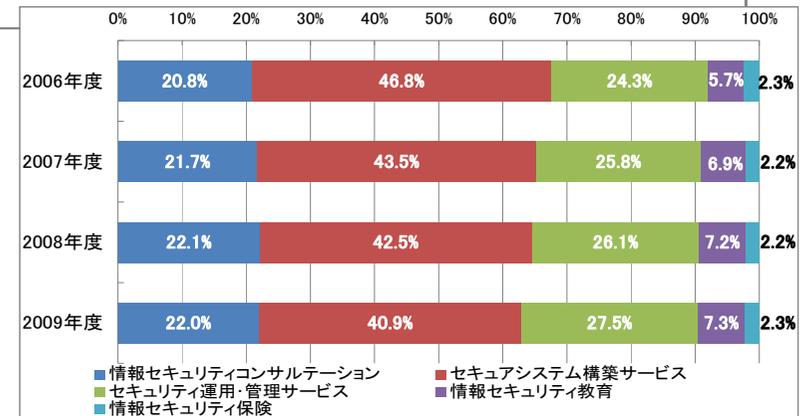
# 情報セキュリティサービス市場推移



(P9-12, P80-83)



- システム構築サービスが最大セグメント。成熟化。
- 教育が2007年度に急速な伸び。2008年度も相対的に高成長。
- 2007年度はコンサルと管理・運用サービスが大規模市場ながら高成長。2008年度も拡大。
- 情報セキュリティ保険は横ばいに。

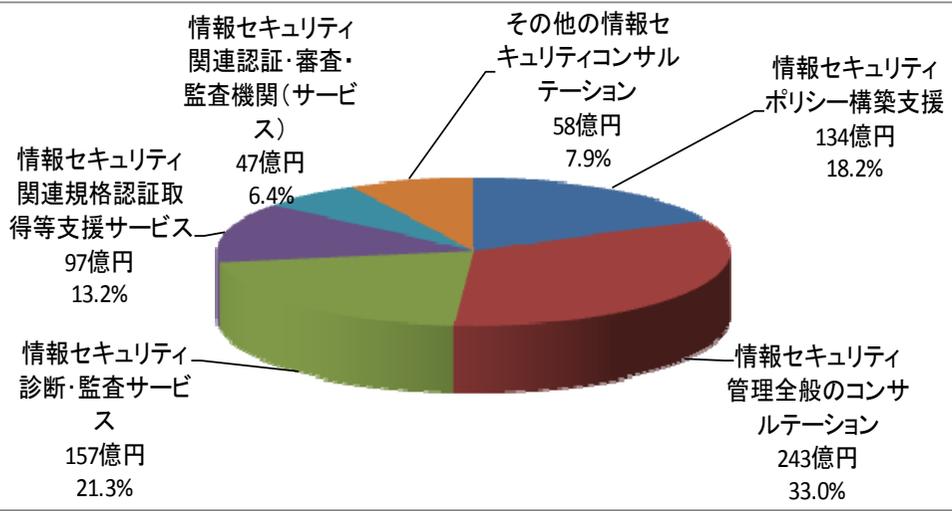
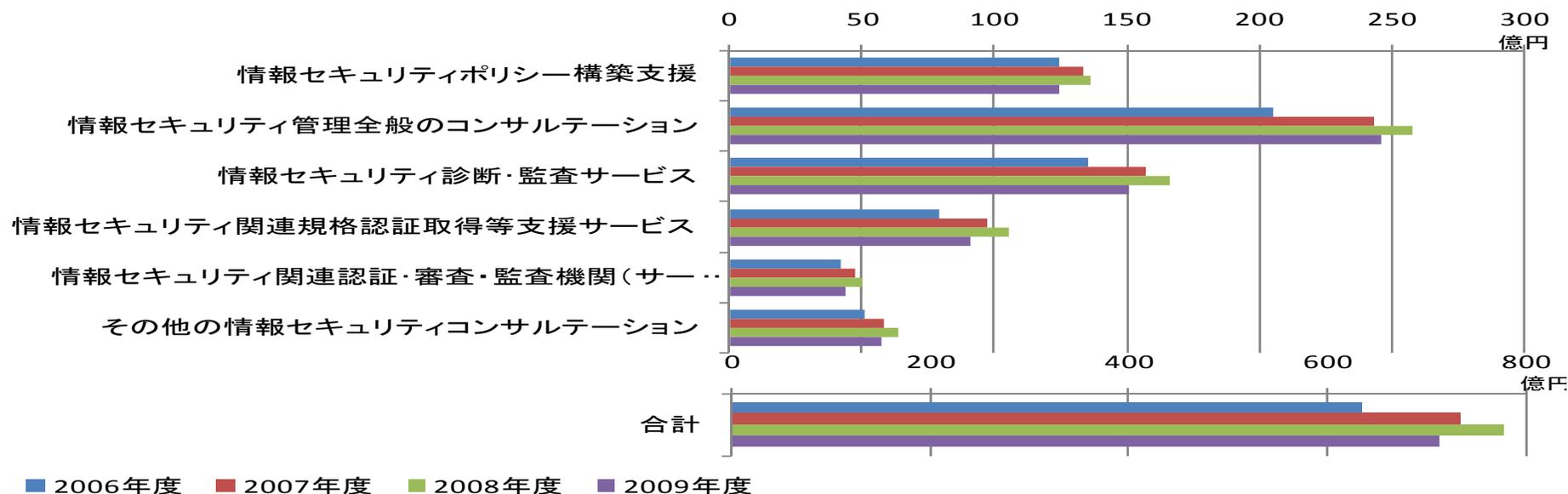


# 情報セキュリティコンサルテーション



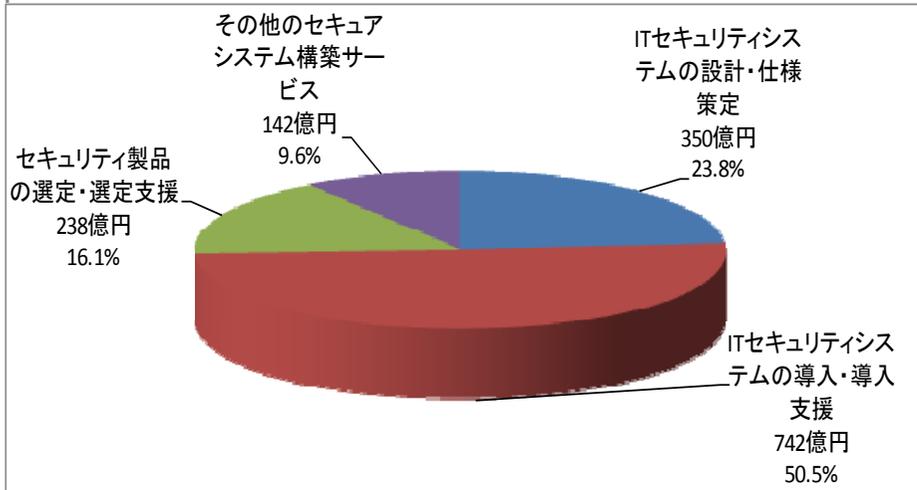
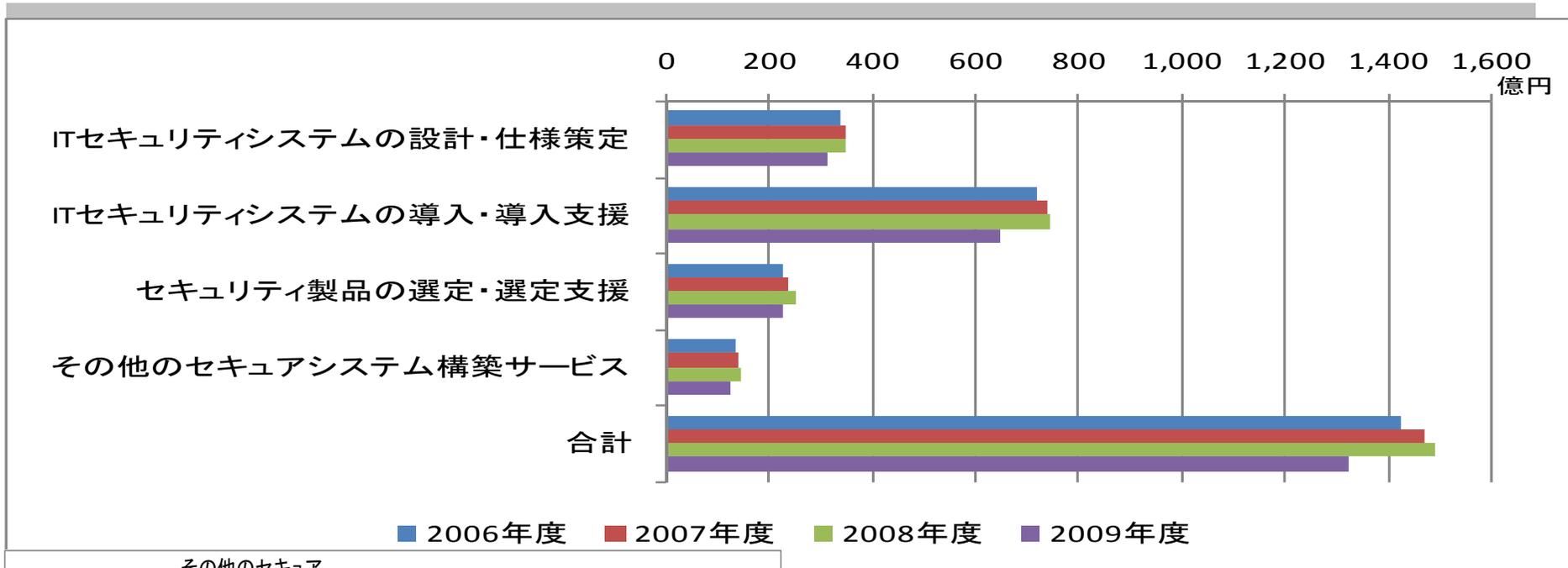
(2007年度)

(P84-88)



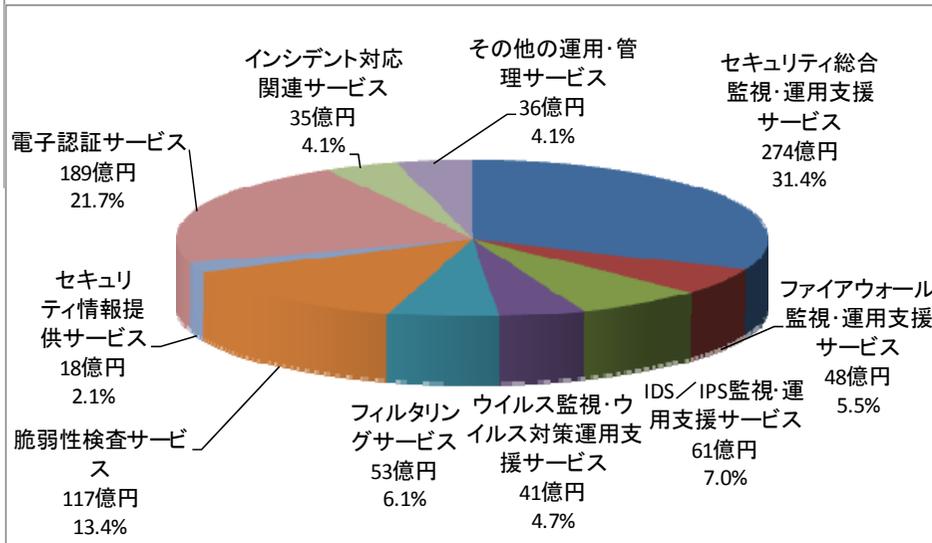
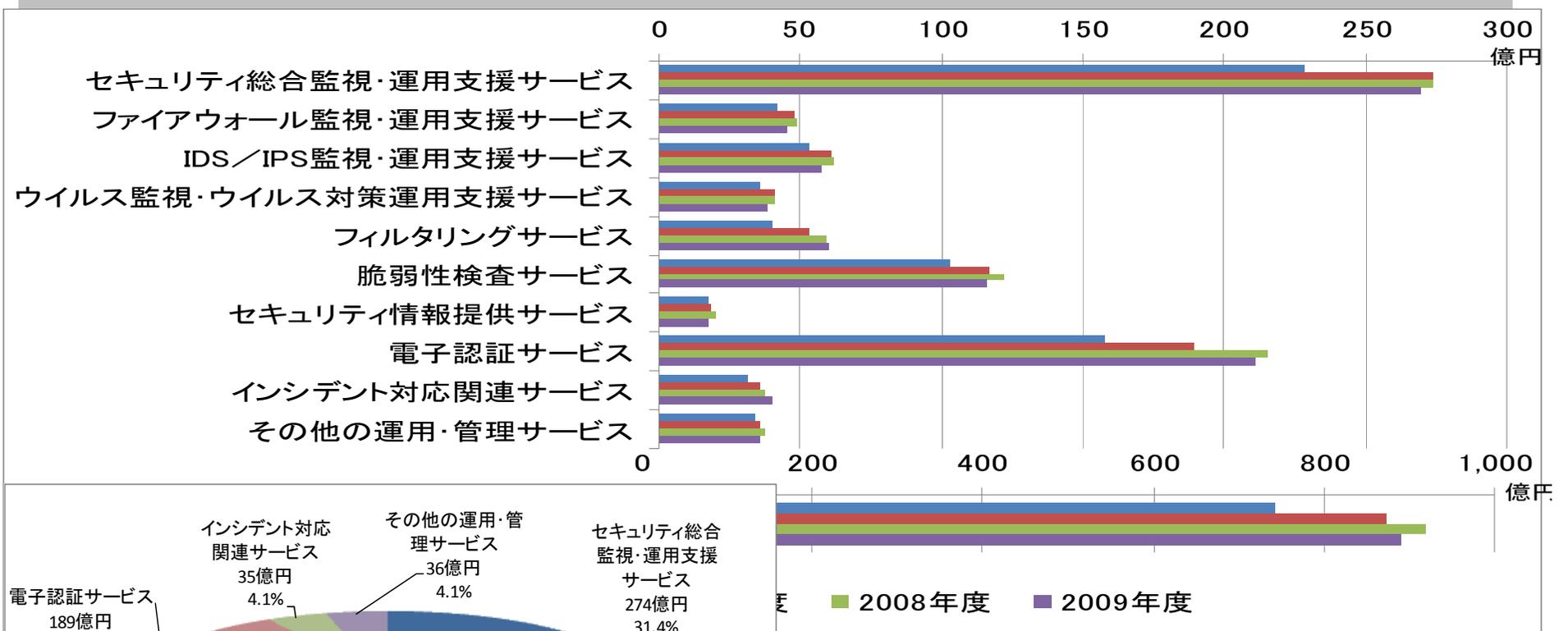
- セキュリティ管理全般のコンサルが規模が大きい中で伸びも高いのが目立つ。
- 2007年は規格認証取得支援が大きく伸びた。J-SOX対応で認証取得の優先度が低下したと思われる中で健闘！？
- 診断・監査も伸びた。第3者からの評価の必要に対する認識の表れか？(認証取得と同様の理由による?)

# セキュアシステム構築サービス(2007年度)



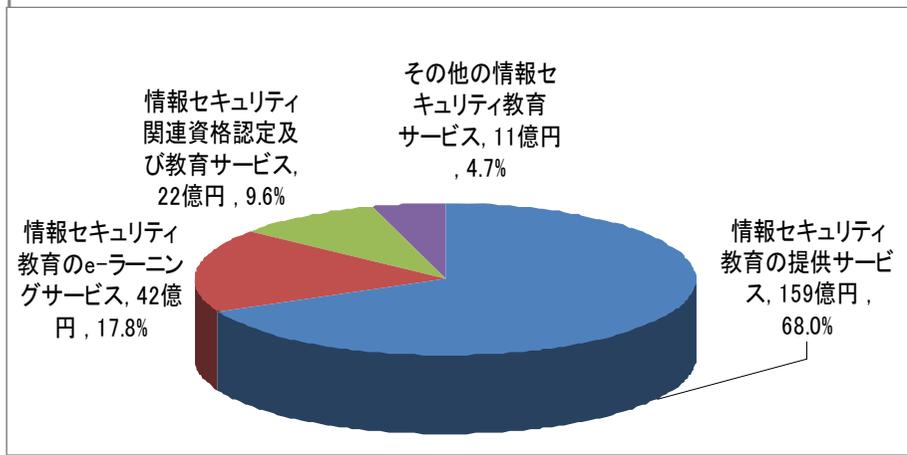
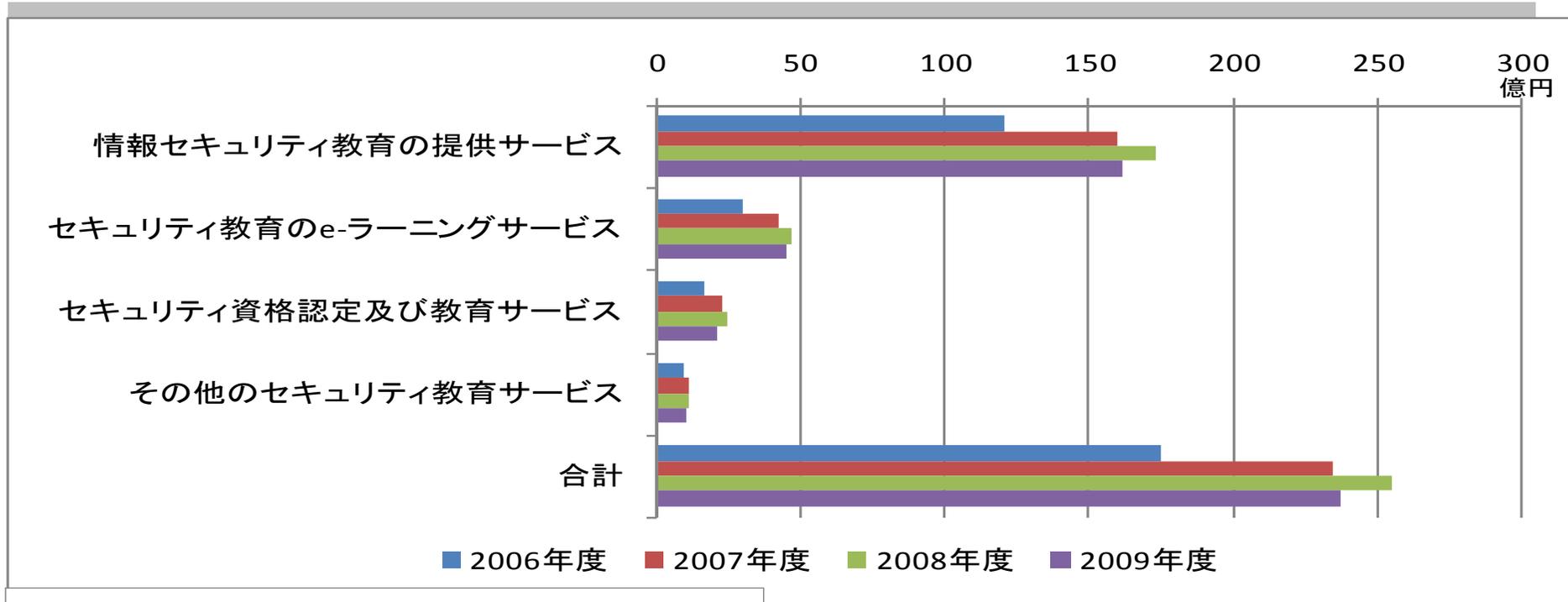
- 全体で1400億円を超える大市場。
- 中でITセキュリティのSIと言える「導入・導入支援」が半分を占める。
- 規模が大きいことと、セキュリティ目的のSIからSIの与件への変化の中で「市場」としての独立性が薄れている結果、伸びが鈍化。需要の飽和ではないと見られる。

# セキュリティ運用・管理サービス(2007年度)



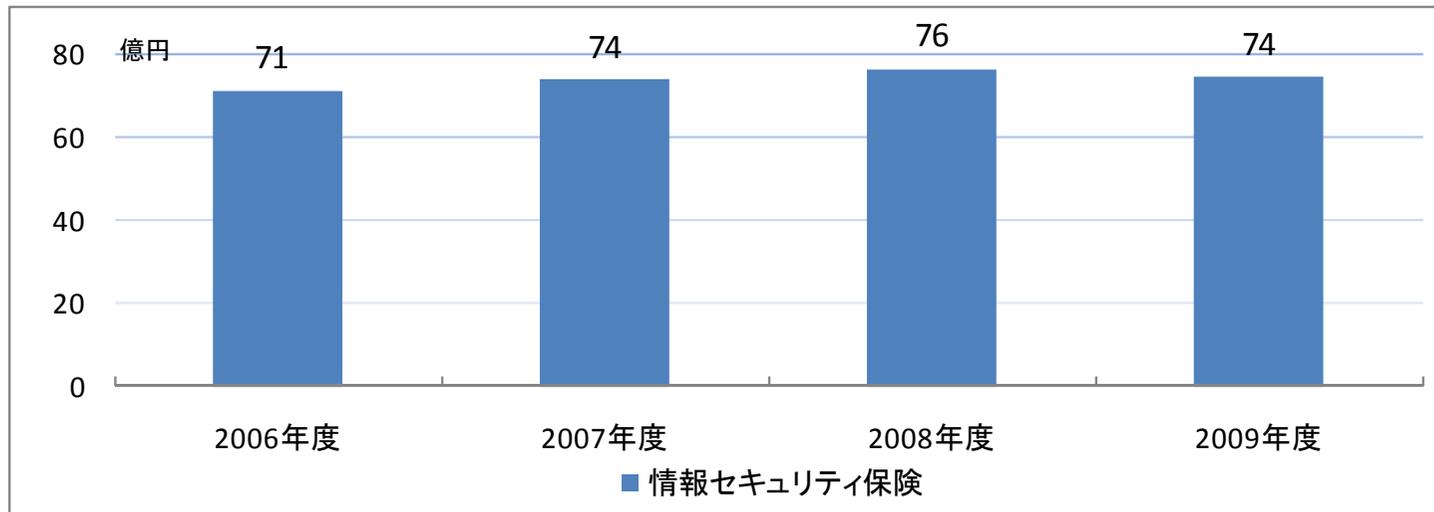
- 全体で900億円前後の大市場に成長した。
- マネージドサービスが55%、プロフェッショナルサービスが20%、電子認証が22%の構成比。
- マネージドサービスはアウトソース志向、プロフェッショナルサービスはインシデント対応、電子認証はJ-SOX関連で伸びていると見られる。

# 情報セキュリティ教育 (2007年度)



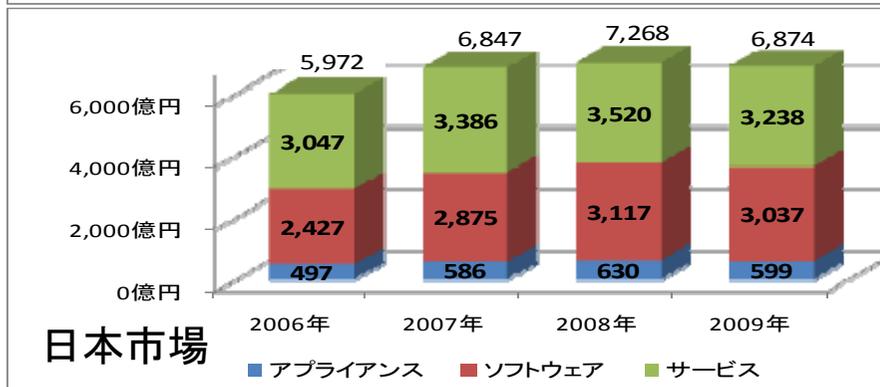
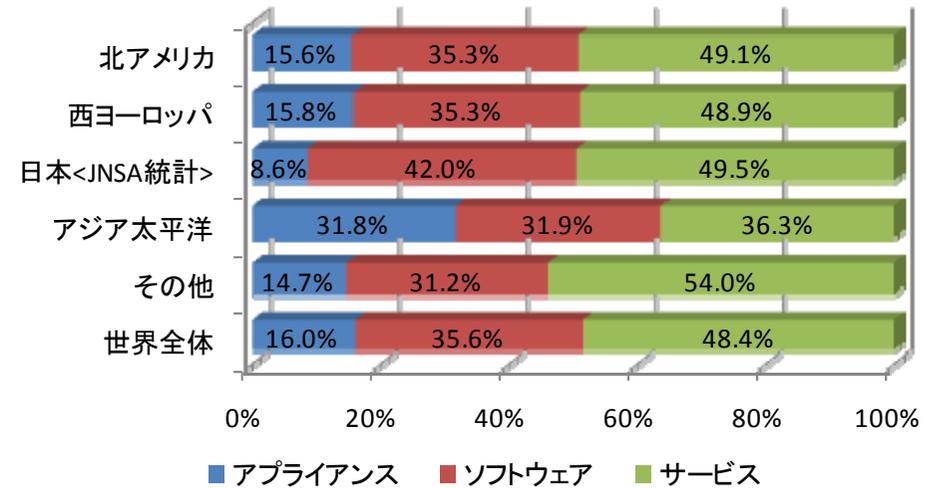
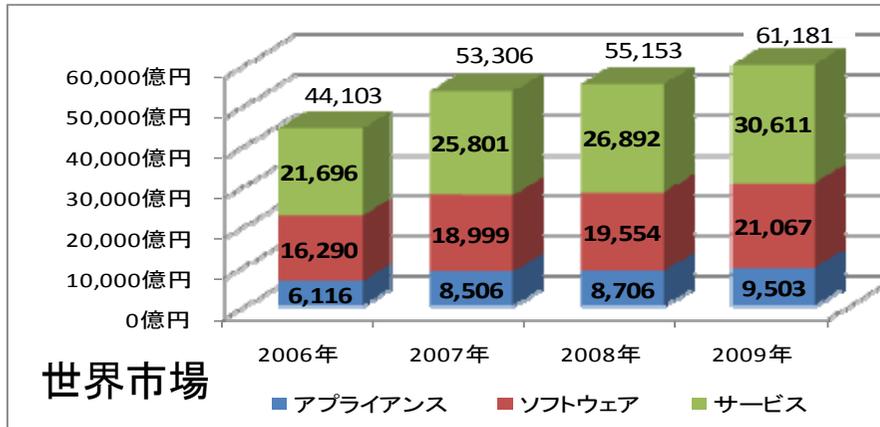
- 全体で2007年度に34%増と急成長した。
- 情報漏洩対策、内部統制対応と、現場の社員一人一人の自覚と行為に依存する要素の増加・重要化の結果と考えられる。
- 全社員が対象となることから、E-ラーニングの伸びが著しい。

# 情報セキュリティ保険(2007年度)



- 前回調査で、2006年に76%拡大して71億円規模に到達と観測。
- 今回調査ではその後の伸びを確認できず、市場としてはほぼ飽和に近付いた可能性がある。
- 潜在的には拡大の可能性があると考えられ、今後の継続観察が必要。

# 国際比較－日本の市場構造



日本市場の対世界市場シェア	2006年	2007年	2008年	2009年
アプライアンス	8.1%	6.9%	7.2%	6.3%
ソフトウェア	14.9%	15.1%	15.9%	14.4%
サービス	14.0%	13.1%	13.1%	10.6%
セキュリティ合計	13.5%	12.8%	13.2%	11.2%

・アプライアンス: アジア偏重  
 日本が極端に少ない  
 ・ソフトウェア: 日本だけが高い  
 ・日本の構成比の差の原因は未解明  
 ・サービス: アジアが極端に少ない  
 ・北アメリカ・西ヨーロッパ・世界全体が似た構造になりつつある。

# 情報処理実態調査(2006)との比較 (1)



## 情報処理実態調査

ウイルス・ワーム被害

PC・記憶媒体の盗難・紛失

### 技術的対策

ファイアウォール

アクセス管理

生体認証

### 組織的対策

セキュリティポリシー

従業員教育

監視体制

評価の実施

## セキュリティ市場調査

コンテンツセキュリティ対策製品の伸び

ポリシー管理製品、暗号製品の急成長

各製品の需要・市場成長

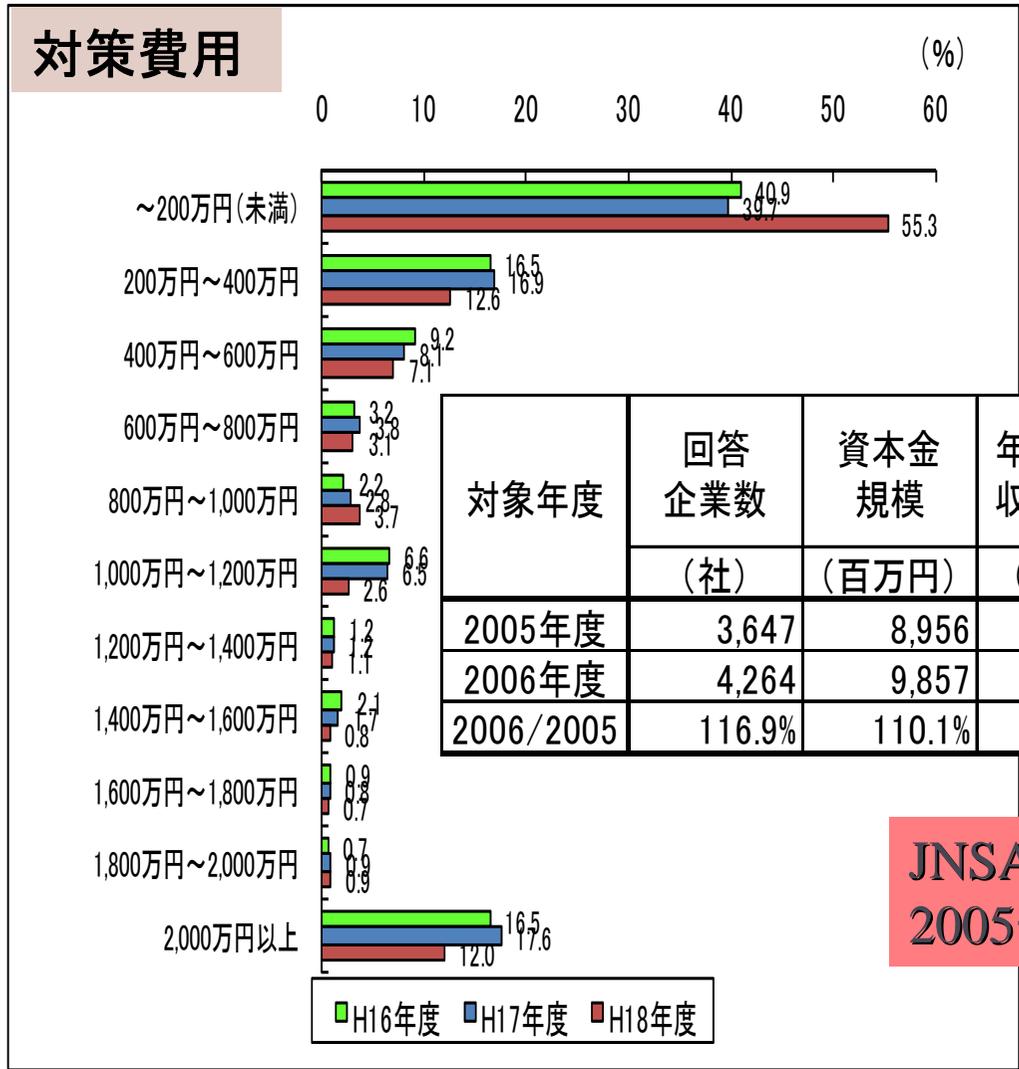
情報セキュリティコンサルティング

情報セキュリティ教育

セキュリティ運用・管理サービス

情報セキュリティ診断・監査

# 情報処理実態調査(2006)との比較 (2)



**2005→2006で、IT費用、売上高比、セキュリティ対策費が各3/4に!!**

対象年度	回答企業数	資本金規模	年間事業収入規模	情報処理関係諸経費	年間事業収入比	情報セキュリティ対策費用	対情報処理関係費比率
	(社)	(百万円)	(億円)	(百万円)	(%)	(万円)	(%)
2005年度	3,647	8,956	803	958	1.19	1,030	1.08
2006年度	4,264	9,857	796	725	0.91	750	1.03
2006/2005	116.9%	110.1%	99.0%	75.7%	76.4%	72.8%	96.2%

**JNSAの市場調査(前回)では2005→2006で、市場規模は14.6%成長**

# 市場の新しい動きトピックス

- 2007～08年におけるネットワークの脅威の動向
  - SQLインジェクション      – ボットネット
- SaaS、仮想化環境やクラウドのセキュリティ課題
  - クラウド事業者の課題      – クラウド利用上の課題
- セキュリティにおけるSaaS (Security as a Service) の利用
  - セキュリティのアウトソース需要→運用・管理サービスの市場拡大
- セキュリティの新技术動向:レピュティション、ホワイトリスト、DLPについて
  - 従来型(定義ファイル)ウイルス検知の限界
  - サイト・URLの評価、確認済みサイト情報の利用
  - データそのものをトレース対象として漏洩を防止
- 情報セキュリティのパラダイム拡大の動き(GRCとは)
  - CIAからセキュリティガバナンスへの拡大に対応したGRC(Governance, Risk Management, Compliance)

- 情報セキュリティは主たる経営課題に位置づけ
- 情報セキュリティの脅威、リスクの高度化・複雑化・深刻化
  - 市民を標的にするネット犯罪の拡大・多様化
  - サイバー攻撃は経済目的中心へ・見えない化・標的化
  - サイバー地下経済の成立

## 「事故前提型社会」に向けてのアーキテクチャ再設計が課題に？

- 市場調査面での課題：
  - 市場の定義・区分：技術の変遷により市場は変化 vs 経年推移観測
  - セキュリティ部分を切り出す数字の捕捉率の問題／推定方程式開発？

# セキュリティ市場調査WG メンバーリスト

2009年3月31日現在

## ワーキンググループリーダー

勝見 勉 株式会社情報経済研究所

## ワーキンググループメンバー(調査・執筆参加者)

市川 順之	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
岡本 英世	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
塩見 友規	オー・エイ・エス株式会社
風間 勇人	サイバーエリアリサーチ株式会社
森田 弥生	新日本有限責任監査法人
秋山 卓司	日本クロストラスト株式会社
金子 以澄	日本CA株式会社
光野 元彦	パスロジ株式会社
中木 篤郎	株式会社日立情報システムズ
佐藤 友治	ブロードバンドセキュリティ株式会社
長谷川 長一	株式会社ラック

**JNSA**



NPO 日本ネットワークセキュリティ協会  
Japan Network Security Association

**JNSA**

<http://www.jnsa.org>  
[sec@jnsa.org](mailto:sec@jnsa.org)

Thanks!

勝見 勉

株式会社情報経済研究所 代表取締役

(独)情報処理推進機構 研究員

[info-economy@xvg.biglobe.ne.jp](mailto:info-economy@xvg.biglobe.ne.jp), [t-katsu@ipa.go.jp](mailto:t-katsu@ipa.go.jp)